瀧谷妙成寺末、地子地同所 京本國寺末、地子地同所 金澤全性寺末、 京本隆寺末、 京立本寺末、 右同斷、地子地同所 京妙顯寺末、 が六ケ **火五ヶ寺組** 寺組 拜領地同所 拜領地河北郡金澤卯辰 地子地河北郡金澤闊助馬場 地子地石川郡宮腰 具足山金性寺 大谷山妙泰寺 德深山本昌寺 三諦山國附寺 長榮山妙玄寺 金澤山妙應寺 妙光山長久寺

右同斷、 **瀧谷妙成寺末、地子地河北郡金澤卯辰** 地子地同所

京妙顯寺末、 京立本寺末、 地子地同所 町役能美郡小松東町 町役同所

玉樹山立像寺

久榮山常福寺

鳳凰山本成寺 法昌山妙圓寺 右同斷、

京本正寺松、 京本能寺末、 六ヶ 寺組 地子地同所

京本隆寺末、

地子地同所

拜領地河北郡金澤卯辰 雨寳山慈雲寺 鳳榮山本光寺

> 瀧谷妙成寺末、地子地同所 京妙覺寺末、 地子地同所

右同斷、 右同斷、 地子地同所 拜領地同所

日向山妙國寺 妙法山圓光寺 教德山妙圓寺 精進山妙正寺

メガケ寺組

瀧谷妙成寺末、地子地右同郡同所 京立本寺末、地子地右同郡同所 **瀧谷妙成寺末、地子地河北郡金澤卯辰** 越後國本成寺末、 拜領地石川郡選野川川 除町守長山靜明寺 光明山立圓寺 妙法山蓮花寺 **倉谷山宗榮寺**

四ヶ寺組

妙運山眞成寺 弘法山三實寺

是加賀國此宗派の寺院建立の濫觴なるよし、 残れり。按ずるに、 の二ヶ寺は、天明五年に有」故寺破却せしめられ、寺跡のみ 右五組之内二十一ケ寺 卯辰にあり。 此の内 妙久寺・宗榮寺 右之通鸖立、妙成寺迄差出申候控也。 にして、日僚上人の開基也。河北郡の山々に日蓮宗の寺院 **^**b° 一ヶ寺あり。故に此の谷をば法華谷と呼べり。 **鶴尾記にも、車の寳乘寺は當國にて日蓮宗の起原** 法華宗の寺院は、河北郡車村寶乘寺、 加州名職志に ጽ

掛あり。 に就いては、貞享二年九月瀧谷妙成寺より加州諸寺への達 を寺とす。とあるなどにても知られけり。 所にて法談議被、政處、所之者共歸依し、多く改宗して俗家 永仁二年に日像上人關東より上洛、加州石川郡大野村止宿 たるは、是より始れりともいへり。 と云ふ仁の妻なり。とあり。 發起の檀越は妙祐尼なり。妙祐は足利高氏將軍の代官淨連 山日像上人の弟子妙珍阿闍梨、 右車村の寳乘寺は、 如左。 來歴書に、 北國に法華宗の信徒多く成り 京都より下向して創立す。 暦應二年に京都妙顯寺の開 卯辰妙正寺由來書に、 又法華宗の名義

渡|候付、 華宗与可被、致候。且又一覧以後、 調、當月中に可、被₁差出,候。 尤自今 巳後宗旨手形等に、 華宗に相極申候間、被,得,其意,由來書付之局書に法華宗与 今般各々由來書付差出候處、肩書に日蓮宗与朱書に而被』仰 意外大切之儀に存、再三御奉行所に御斷申上、法 寺號下印判可,被,成候。

丑九月七日

成 寺

日 埑

本光寺等賭寺中

澤古歌志卷卅三

〇然

谷と呼べり。 他所に増れりとぞ。古今集に、 りの風致の体にて、幽閑の地なるにより、 此の地は昔は卯辰山の幽谷にて、 今とても此の地は、 いにしへ幽谷なりし頃よ 驚の名所なりと。 春季は殊に驚壁 故に驚

鶯の谷より出る壁なくば 大 江 干

奢くることをたれかしらまし

を詠吟すといへり。 風雅人は殊更此の地を赏し、 驚聲の餘情を興じ、 詩歌俳諧

〇鶯

後に呼び初めたるにや。 此の町名は、元祿九年の肝煎裁許附等の書類に所見なし。 せしもの也。 彼の鶯谷の舊稱に據りて鶯町と稱

〇卯辰祇園前

此の地は鶯谷の菑地なるが、世人祇園社あるにより祇園前 に圏せし時、卯辰村領祇関前に卯辰祇園の町名を建てたり。 とも呼べりといふ。然るに文政四年二月郡地のヶ所を町地